

アクセルランダム
Axlrandom[®]

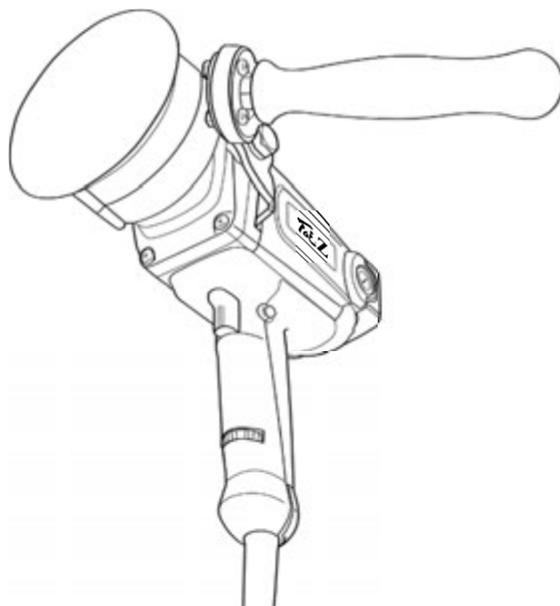
TOIZ

オービットダイヤ可変式アクセルランダム
アクションポリリッシャ

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	1~4
各部の名称・仕様・用途	5
付属品	6
取付方法	7~8
操作方法	8
研磨方法	9
保守と点検	10



二重絶縁

このたびは**ToolZ**をお買い上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「▲警告」、「▲注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「▲警告」と「▲注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「▲注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

▲警告: 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

▲注意: 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容のご注意。

「▲警告」・「▲注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

▲ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理に使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので使用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のものがった所に近づけないでください。
13. 加工する物をしっかりと固定してください。
 - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。
16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ・取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店で修理を行なってください。
- ・スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店で修理を行なってください。
- ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
- ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
- ・そのまま使用すると発煙・発火・感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。等

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・本取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買上げの販売店にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

▲ 警告

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。
必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

Tool Z ご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、Tool Z をご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

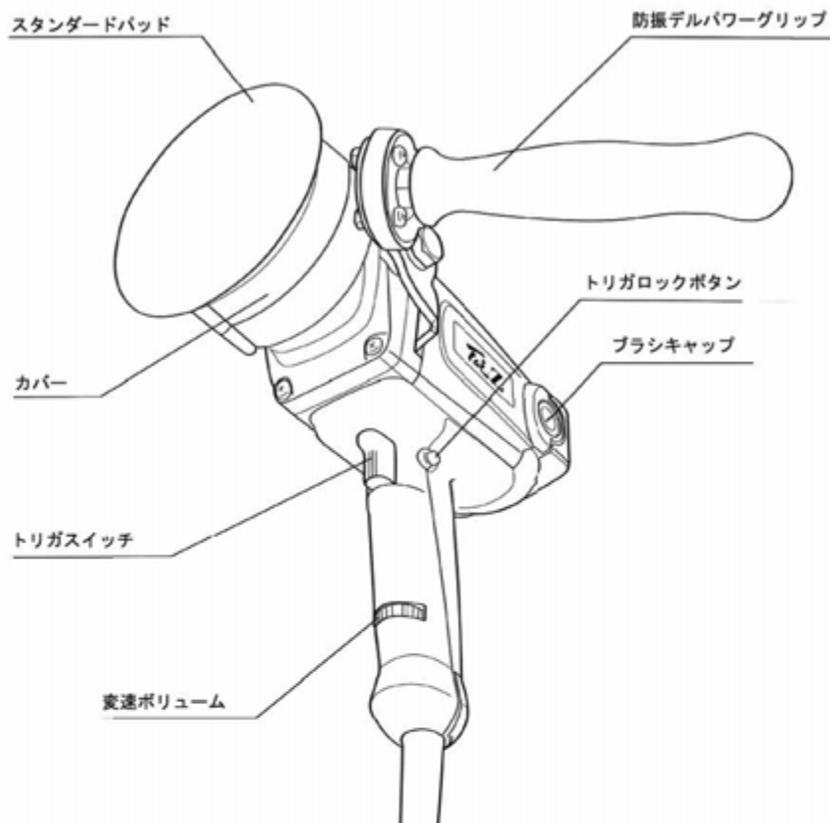
▲ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。
・表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用中は、振回されないよう本体を確実に保持してください。
・確実に保持していないと、けがの原因になります。
3. 湿った場所、ぬれた場所での作業はしないでください。・感電の原因になります。
4. 使用中は、パッドおよび可動部に手や顔などを近づけないでください。
・けがの原因になります。
5. 実作業時、コードが垂れてポリッシャの回転部に接触しないように肩に掛けてください。
・コードが回転部に巻き込まれて重大な事故が発生する可能性があります。
6. 材料を確実に固定してください。
・特に小さい材料を手で持って研磨をしますとけがの原因になります。
7. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
・そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

▲ 注意

1. パッド、バフなどは、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
・確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
2. スタンダードパッド、補助パッド、専用バフは適切な組み合わせによって、バランスが取れるように設計されています。必ず、取扱説明書に従った組み合わせで使用してください。
・適切な組み合わせをしないと、振動により、作業者がけがをし、機体が損壊する可能性があります。
3. 高所作業の時は、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
4. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。・けがの原因になります。
5. この機械はトルクが大きくなっています。慣れるまで通常の回転数以下で作業をしてください。
6. 車などを研磨する場合には、エッジのそば、R/逆R部、突起物のそばなどの破壊しやすい場所では、回転数を下げて作業を行ってください。
7. ポリッシャを地面に置く場合には、バフ面を上向きにしてバフが地面に接触しないように置いてください。
8. ユニット部分は高温になります。オービットダイヤを変更したり、点検するために手で触れる場合は十分に冷やして熱くないことを確認して行ってください。

■各部の名称



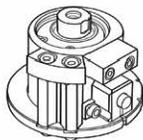
■仕様

- ・電源 単相・交流100V 50/60Hz
- ・電流 9.5A
- ・消費電力 910W
- ・無負荷回転数 2,500~5,200min⁻¹
- ・コード 5m
- ・機体寸法(長さ×高さ×幅、パッド含まず)
..... 250(全高)X250(全長)X100(全幅)mm
- ・質量(本体部・ユニット部・グリップ部・パッド) 3kg
- ・絶縁方式 二重絶縁

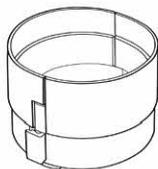
■用途

- ・ロングウール・スモールメリー使用時 研磨、傷消し。
- ・スポンジタイプのパフ使用時 微研磨、水垢落とし、オーロラマーク(パフ目)消し、ワックス、コーティング剤塗布など。

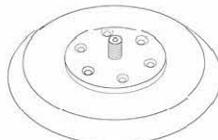
■ 付属品



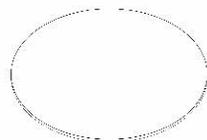
アクセランダム
アクションユニット



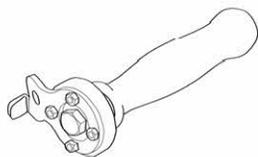
ユニットカバー



スタンダードパッド



バフ用補助パッド



防振デルパワーグリップ
ASSY



スプリングワッシャ
六角ボルト(M10)



平座金×3
ナベタップSタイト×3



スパナ(17mm)
片口と両口

■ 専用バフ(別売)



(強研磨用長毛25mmウールバフ)
ロングウール



(強研磨用羊毛バフ)
スモールメリー



(低反撥黄スポンジバフ)
シフォンバフS



(微研磨用・仕上げ用白スポンジバフ)
ディンプリングケーキSハード



(微研磨用・仕上げ用黄スポンジバフ)
パンプキンス



(仕上げ用白スポンジバフ)
ケーキSバフソフト

■ユニットカバーの開閉方法

フックに親指を掛け、これを少し強く垂直に押し上げながら、しっかりと、カバーを二つに開いてください。はじめは、嵌め合いが硬いので、指を痛めないようにしてください。

閉じる場合は、フックのオス側とメス側がパチンと音がして嵌合するまで押し合わせてください。



■取付方法

1) **K&L** 本体に、カバーを#2のドライバを用いてナベタップSタイト(M3×10)と平座金で3ヶ所取り付けます。このネジはセルフタップになっていて本体側にはネジが十分には切ってありません。ネジを回すことで、自動的にネジが切られ、ネジ止めできるようになっています。少し抵抗があるので、ネジ頭の溝をつぶさない様に注意してください。



2) カバーを開いた状態で、アクセルランダムユニットをスピンドルにねじ込み、2本のスパナ(17mm)で締めつけます。



- 3) 偏心量の切換えは、プッシュボタンを押し、ベースを回して行います。偏心量は、4～10mmの範囲で4段階に調節できます。ベース面の目盛りにプッシュボタンを合わせて下さい。研磨力・バランスの点から、基本的には10mmを使用してください。



- 4) カバーを閉じます。

▲ 警告

・使用に際しては必ず、フックのオス側とメス側がパチンと音がして嵌合するまで閉じてください。

- 5) 防振デルパワーグリップを、スプリングワッシャに通して六角ボルトで十分に締め付けてください。



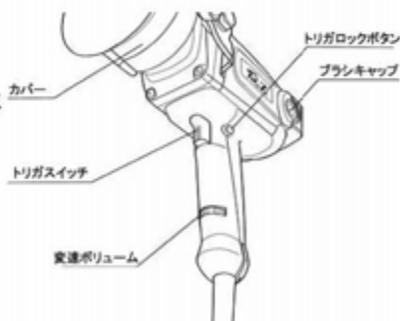
■ 操作方法

- スイッチの扱い方

▲ 警告

・使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、怪我の原因になります。

- ・スイッチは引き金方式です。トリガを引くと入り、離すと切れます。
- ・連続使用の場合、トリガを引いた状態で握り部側面にあるロックボタンを押すと、トリガから指を離してもスイッチは入ったままになります。再度トリガを引くとロックボタンは解除され、スイッチは切れます。(連続使用の場合は出来るだけトリガロックをお使いください。トリガスイッチの接点磨耗を防ぎます。)



■ 速度調整

- ・速度調整は変速ボリュームを回転操作することにより1～6まで無段階に調整が可能です。用途に合った危険の無い適正回転数(適度にクラッチがつながる)に調整してご使用ください。

■回転数目安表

ダイヤル	1	2	3	4	5	6	(rpm)
回転数	2,500	3,100	3,300	3,550	4,000	5,200	

■研磨方法

1) 強研磨

スタンダードパッドにバフ用補助パッドを取り付け、ロングウールまたはスモールメリー(バフ)(別売)をセンターを合わせてバランス良く取り付けてください。

・オービットダイヤは基本的に10mmを使用してください。

バランス・研磨力共に良好です。オービットが小さくなるに従って、アンバランスが発生します。

・塗膜の硬さと傷の深さに合わせて、1stNeo(BLack)(ファーストネオ《ブラック》極細目コンパウンド)または0ⅡfineBLack(ゼロツーファインブラック)小細目コンパウンド(別売)を少量付け、傷が消えるまで磨いてください。

その後清浄な柔らかいクロスで拭き取ってください。

状況によって、それを繰り返してください。

・回転速度は、危険感無く安心して磨けるよう、傷が深く入らないよう回転数を調整してください。よく磨けるよう、傷が深く入らないよう塗膜に絡みが発生しないようにコンパウンドの量や押圧力を加減してください。ボディ側出力軸回転数と偏心軸回転数が、近くなりすぎると、オーロラが発生する可能性がありますので、バフが速く回りすぎる場合は、変則ボリュームを調整して回転数を下げてください。ランダム運動に回復します。



2) 仕上げ研磨

スタンダードパッドにバフ用補助パッドを取り付け、そこにバンブキンスやディンプリングケーキSハードまたはケーキSバフソフト、シフォンバフS(全て別売)を、センターを合わせてバランス良く取り付けてください。

・塗膜の硬さと傷の深さに合わせて、1stNeo(BLack)(ファーストネオ《ブラック》極細目コンパウンド)または2nd(セカンド 超微粒子コンパウンド)(別売)を少量付け、傷が消えるまで磨いてください。

その後清浄な柔らかいクロスで拭き取ってください。

状況によって、それを繰り返してください。

・オービットダイヤと回転速度は状況に応じて調整してください。



▲ 警告

・ユニットに取り付けるパッドやバフは必ず専用品を使用してください。

すべてがバランスウェイトの役目をしているので他の製品を取り付けるとアンバランスが発生し振動が激しくなり、怪我をしたり、機体を損壊する危険性があります。

・ユニット部分は高温(60度以上)になります。オービットダイヤを変更したり、メンテナンスのために手を触れる場合は十分に冷やして熱くないことを確認して行ってください。

■保守と点検

▲ 警告

保守、点検、部品交換などのお手入れの前にスイッチを切り、プラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。特にユニット部のウエイトは、常に緩みを確認してください。

●使用後の手入れ

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●アクセルランダムクラッチ部について

- ・アクセルランダムユニットのクラッチシューとプレートは消耗品です。カーボンブラシの2回交換を目安に、点検メンテナンスにお出し下さい。

●カーボンブラシについて

- ・カーボンブラシは消耗品です。製造時に挿入されているカーボンブラシは、コンミの磨耗を最小限に防ぐ特殊加工のカーボンブラシです。全長の1/3以下、即ち、側面の注意線まで短くなりましたら新しいものと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用されますと、モーター焼損の原因になることがあります。
- ・カーボンブラシの交換は、マイナスドライバでブラシキャップを外せば、簡単に行なえます。
- ・カーボンブラシは2個1セットです。交換されるときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。
- ・カーボンブラシはケキテックの純正品をお求め下さい。

▲焦げ臭い匂いがすることがあります。

カーボンブラシにコンミ部の耐磨耗のために通電性の良いオイルが含油してあります。このため、ポリッシャを回転させると、通電時にオイルが揮発する為、焦げ臭い匂いがしますが異常ではありません。
また、アクセルランダムクラッチは、回転摺動時には強い摩擦のため、高温になり、焦げ臭い匂いがすることがありますが異常ではありません。

▲始動時にギヤ部より、鳴く音がするものがあります。

ギヤのクリアランスが少し大きいため、始動時と終動時に若干の鳴き音がするものがありますが異常ではありません。
※の場合は、アクセルランダムユニットが特に重いため、常態として起こりえます。



明日の研磨技術を今日の商品で実現する
ケキテック株式会社